



相原中学校だより

拓け 夢を
築け 人生の礎を

熟考力（しっかり考える）実践力（思いや考えを行動に）意志力（自分に負けない）

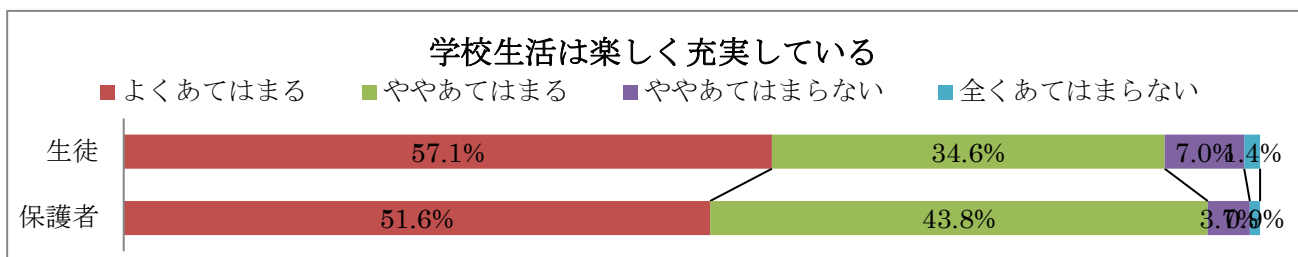
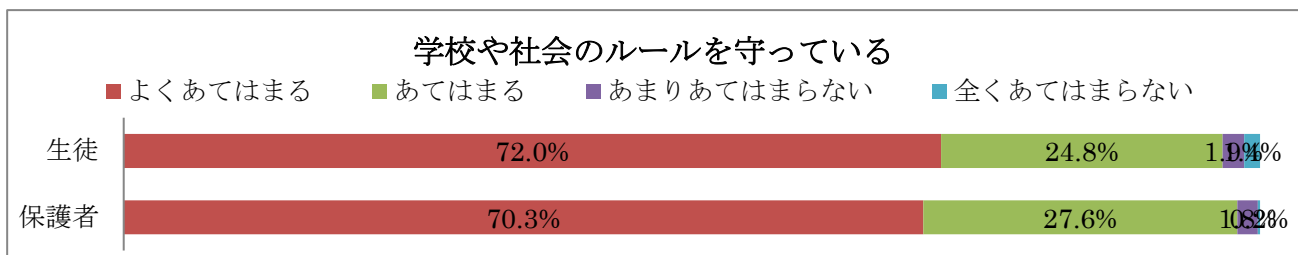
今年度の成果と課題

校長 伊藤 隆一

令和2年度の学校評価（自己評価）がまとまりましたので、その概要をご報告します。今年度はコロナ禍のため、保護者や地域の方に来校していただく機会をあまり設定することができず、全国学力・学習状況調査も中止となり、例年のように多くの資料にもとづいての分析は困難でした。この報告は学校生活に関するアンケートを中心に、本校教職員による教育評価、行事の反省、日常の生活の様子等を総合し、まとめたものです。

《今年度の成果として感じたこと》

どの生徒たちも集団生活を送る上での規範意識がしっかりと身につけており、学習態度も真面目で、生徒会活動や部活動にも意欲的な参加姿勢を示しています。学校生活アンケートでは、「よくあてはまる」と「あてはまる」の合計値で見ると、下のグラフにあるとおり、「学校や社会のルールを守っている」の項目には96.8%（生徒）、97.9%（保護者）、「学校生活は楽しく充実している」の項目には91.7%（生徒）、95.4%（保護者）と高い評価を示しています。



○学校生活アンケートで、上記以外にも90%近くの生徒が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した項目は

- ・「学習や委員会活動、部活動等に目標を持って取り組んでいる」：92.5%（生徒）、89.3%（保護者）
- ・「部活動は楽しく充実している」：89.8%（生徒）、92.5%（保護者）
- ・「学級や部活動等での人間関係はうまくいっている」：94.4%（生徒）、93.6%（保護者）

等があげられます。

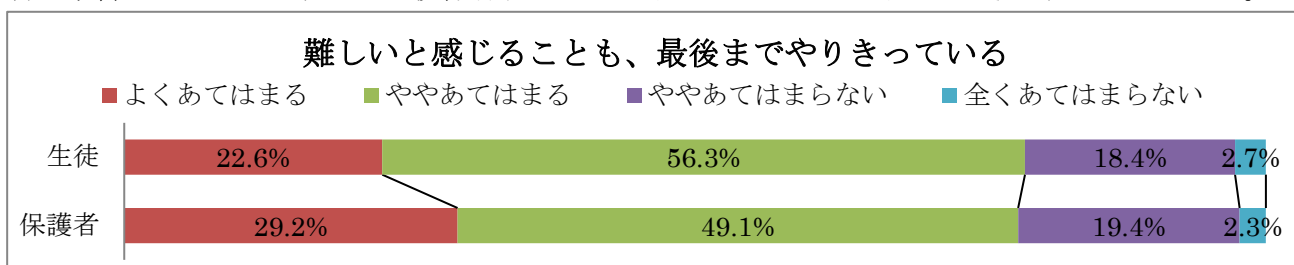
○3年間の経年変化（集計結果その2）からは、全10項目のうち半数の項目で少しずつ評価が上昇しています。規範意識がしっかりと身につけており、学習・学級活動・部活動に目標を持って取り組む生徒が多いことは、相原中学校の学校風土として今後も本校の良き伝統として継承していきたいと思えます。

○本年度は休校明けの6月に段階的な学校再開となり、生徒の心のケア、いじめ防止を喫緊の課題として、教職員が共通認識を持ちました。定期的な生徒生活アンケートの実施を教育相談につなげ、毎週の生徒指導・生徒支援会議を要として、未然防止、早期発見・対応に取り組みました。

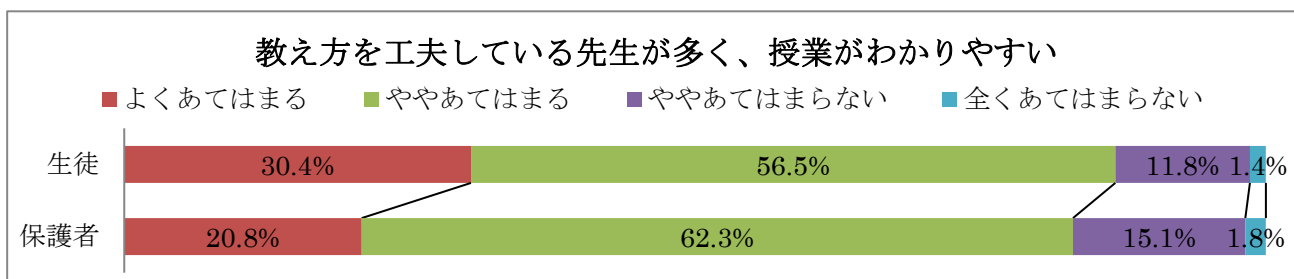
- 校内研究において、教職員相互に授業を公開し、生徒の力を伸ばすことを目的に授業改善に取り組みました。新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」をねらった授業の試行や授業過程に「見通しと振り返り」を設定することで基礎・基本の定着をめざしました。コロナ禍での制限がある中で、授業形態や授業展開の工夫に取り組みました。
- 優輝祭はコロナ禍のため、体育部門のみの実施となりました。例年の種目を大幅に見直し、安全に最大限配慮した中で開催しました。この体育部門は3学年そろっての唯一の異学年交流活動となり、例年とは少し違った形で、生徒の手による学校祭づくりが継承されました。
- 部活動は7月からの再開で、練習時間も制限された中で、取り組みました。3年生の総合体育大会は陸上競技を除いては実施できず、代替大会の開催となりました。そのなかで、運動や文化的活動に取り組むことが純粋に楽しいと感じた生徒も多く見られました。今後も技術面の向上のみならず、生徒たちの興味・関心等をより深く追求できる場として、適切な運営に心がけてまいります。

《課題および次年度に向けて》

本校では平成30年度から3年間、「熟考力」「実践力」「意志力」の3点を教育活動の重点として定め、子どもたちの「生きる力」の育成に向けて継続的な取り組みを進めてきました。予測困難なこれこれからの時代に「しっかり考えること」、「思いや考えを行動に」、「自分に負けない」そんな力を教科の学習を基盤としてすべての教育活動を通して身につけさせていくことに取り組んできました。



- 学校生活アンケートでは、「難しいと感じることも、最後までやりきっている」の項目には78.9%（生徒）、78.3%（保護者）と比較的高い評価ですが、「よくあてはまる」の評価だけ見ると、30%以下にとどまっています。困難なことへ挑んだ体験、また時には失敗した体験も生徒たちを大きく成長させます。これからも生徒に寄り添いながら、困難にも屈せず物事を成し遂げていく資質・能力を培っていきたいと考えます。



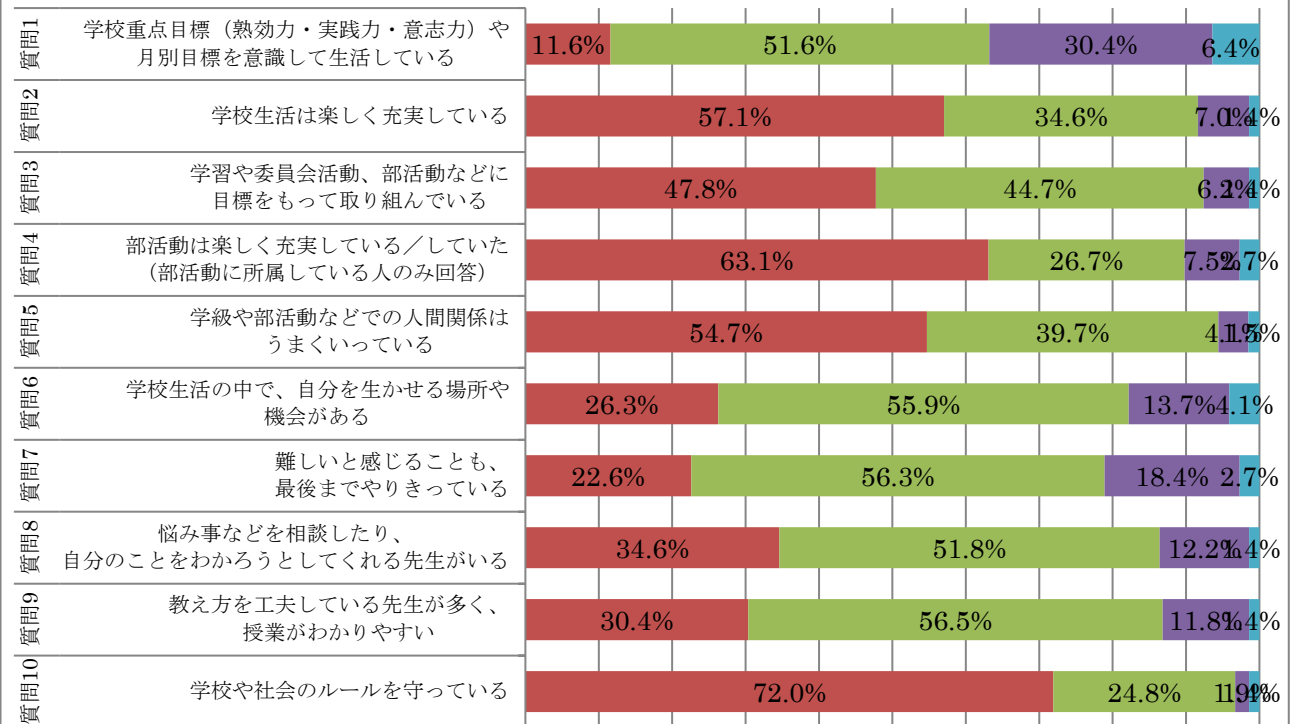
- 学習調査等を分析すると、相対的には本校生徒の学習成果はよいものの、中には授業内容についていけなくなっている生徒もいます。学校は今後も研究授業等とおして教員の授業力の強化に向けて取り組むと共に、個々の生徒の教育的ニーズを把握することで、学習相談会等の学習支援のあり方についても検討・工夫をしていきたいと考えています。
- その他、学校および教職員への励ましのお言葉とともに、「コロナ禍においても部活動の活動時間を確保してほしい」、「GIGA スクール構想に基づくリモート授業の実施を検討してほしい」、「コロナ禍のためジャージ登下校を継続してほしい」等いくつかのご意見をいただきました。相模原市教育委員会から示されるガイドライン等をもとに、学校としてもコロナ禍の状況等をみながら検討してまいります。

本年度は授業参観や行事等の来校していただく機会を設定できない中で、学校生活アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も学校の安全・安心を基盤とした教育活動を継続し、学校教育のさらなる充実に全教職員をあげて取り組んでまいります。

令和2年度 学校生活に関するアンケート集計結果 その1

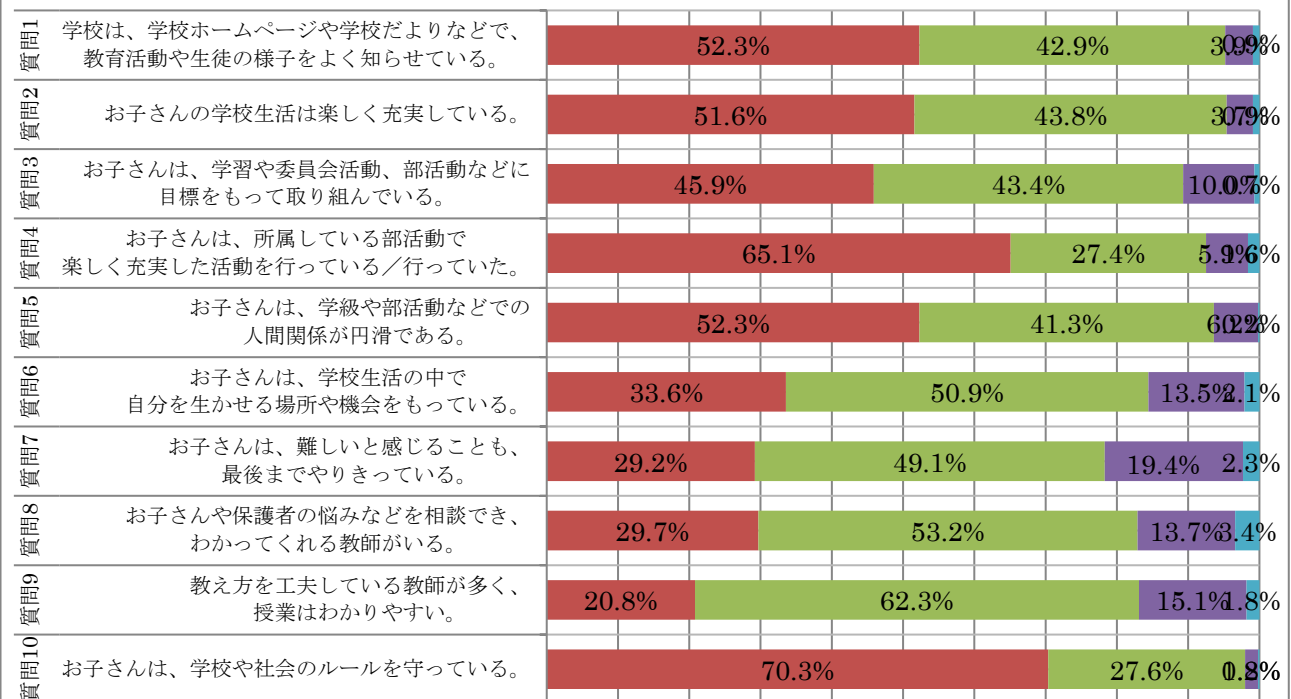
(令和2年11月実施 回収集計数 生徒名517名、保護者448名)

生徒用アンケート結果



■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ 全くあてはまらない

保護者用アンケート結果



■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ 全くあてはまらない

令和2年度 学校生活に関するアンケート集計結果 その2
 < 生徒アンケート 経年変化 >

上段:R2年度 中段:R元年度 下段:30年度

項目	内 容	4	3	2	1
1	学校重点目標（熟考力・実践力・意志力）や月別目標を意識して生活している。	11.6 %	51.6 %	30.4 %	6.4 %
		6.3 %	55.3 %	32.4 %	6.0 %
		12.5 %	61.8 %	20.3 %	5.3 %
2	学校生活は楽しく充実している。	57.1 %	34.6 %	7.0 %	1.4 %
		56.5 %	35.2 %	7.1 %	1.2 %
		56.4 %	35.2 %	6.1 %	2.2 %
3	学習や委員会活動、部活動などに目標をもって取り組んでいる。	47.8 %	44.7 %	6.2 %	1.4 %
		44.0 %	48.2 %	6.9 %	0.8 %
		45.6 %	42.3 %	10.0 %	2.1 %
4	部活動は楽しく充実している／部活動は充実していた（部活動に所属している人のみ回答）	63.1 %	26.7 %	7.5 %	2.7 %
		63.1 %	29.7 %	4.7 %	2.5 %
		60.6 %	20.5 %	12.7 %	6.2 %
5	学級や部活動などでの人間関係はうまくいっている。	54.7 %	39.7 %	4.1 %	1.5 %
		54.7 %	39.0 %	5.0 %	1.3 %
		53.3 %	37.0 %	8.5 %	1.1 %
6	学校生活の中で、自分を生かせる場所や機会がある。	26.3 %	55.9 %	13.7 %	4.1 %
		24.2 %	56.7 %	15.7 %	3.3 %
		29.3 %	51.6 %	15.5 %	3.7 %
7	むずかしいと感じることも、最後までやりきっている。	22.6 %	56.3 %	18.4 %	2.7 %
		21.9 %	59.4 %	16.5 %	2.1 %
		24.1 %	54.3 %	19.3 %	2.4 %
8	悩み事などを相談したり、自分のことをわかろうとしてくれる先生がいる。	34.6 %	51.8 %	12.2 %	1.4 %
		28.7 %	53.2 %	15.9 %	2.2 %
		30.4 %	48.8 %	15.0 %	5.9 %
9	教え方を工夫している先生が多く、授業がわかりやすい。	30.4 %	56.5 %	11.8 %	1.4 %
		25.2 %	60.4 %	13.5 %	0.8 %
		27.9 %	57.6 %	12.6 %	1.9 %
10	学校や社会のルールを守っている。	72.0 %	24.8 %	1.9 %	1.4 %
		69.9 %	27.2 %	1.9 %	1.1 %
		66.9 %	29.0 %	3.1 %	1.0 %

